

研究テーマ 摂食・咀嚼・嚥下における生体情報の記録・解析

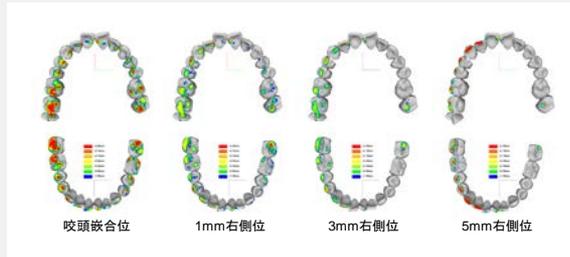
所属 氏名 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 咬合管理学分野 教授 松香芳三
 助教 重本修侗、田島登誉子

【研究シーズ概要】

超高齢社会に突入したわが国において、多くの高齢者が口からおいしく食事をする事は、健康長寿社会の実現に向けての大切な課題の一つである。本研究では良く噛むことができるようになることを目標にしている。

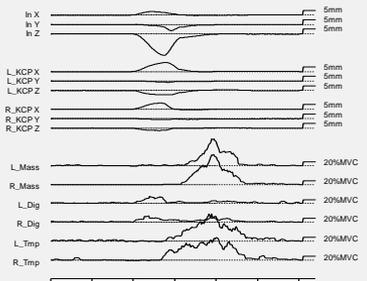
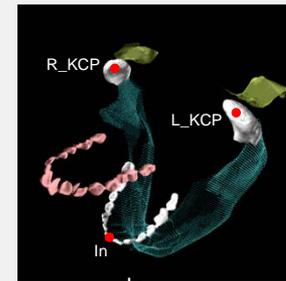
1. 咬合可視化システムの開発

食事時の上下の歯のかみ合わせの状態を明確に把握することにより、咀嚼能率を改善することが可能となる。



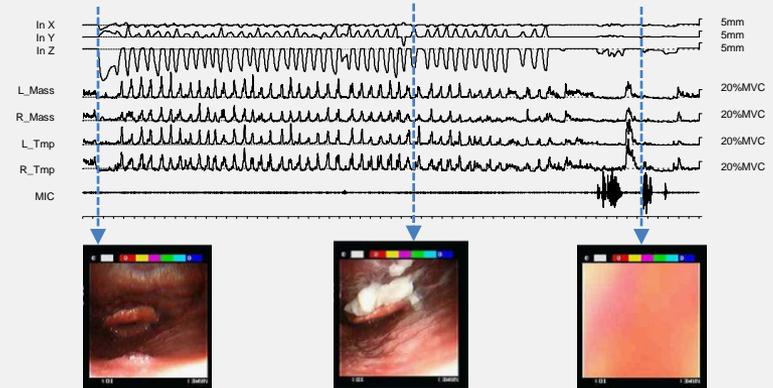
2. 噛み心地の良さの向上

噛み心地が良いと咀嚼能率が向上することが理解でき、顎全体の運動と筋活動から噛み心地の評価法を開発した。



3. 摂食・咀嚼・嚥下運動の同時記録

摂食から嚥下に至る一連の食事動作における顎運動、咀嚼筋筋電図、嚥下音、呼吸などの生体情報の記録に加え、嚥下内視鏡データを同時記録・解析することにより、多面的な情報解析が可能となった。



【(想定される)応用範囲／今後の展望】

摂食・咀嚼・嚥下の実際が具体的に理解され、治療に直結することが可能となる。また、今後高齢者の記録・解析をすすめることにより、高齢者の問題が明確になり、健やかな老後に結びつけることができる。